湘南支援学校の特色ある学習について
【湘南支援ブランド】

本校では、音声での発信が難しく、視覚的な指示が有効な児童生徒も在籍しているので、授業名や日常でよく使う単語の身振りサインとシンボルマークを全学部共通で設定しています。小学部から中学部、中学部から高等部に進学しても継続して使えるよう、全体で取り組んでいます。

✿身振りサイン

小中高でほぼ毎日しているものです。学部が変わってもスムーズに移行できるように、また地域から転入・入学した児童生徒ともコミュニケーションがとれるよう取り組んでいます。

給食　『食べる』の手話	体育　走るように腕を振る	トイレ　肩を叩く
 	  	 

上図は、設定された身振りサイン・シンボルマークの一部です（全体は湘南支援学校ホームページの「シンボルマークと身振りサイン」にあります）。教員が学校生活の中で使用することで児童生徒も少しずつ覚えていきます。

✿シンボルマークはこのようなところで使われています

シンボルマークでのスケジュールの提示

授業名などを簡単なイラストで表したものを共通言語として使っています



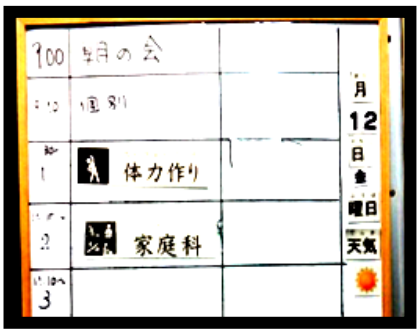
児童生徒が見通しを持って学校生活を送れるよう、その日の予定（時間割）をクラスに掲示しています。授業名の横にはシンボルマークと活動場所の写真を掲示し、文字が読めなくても分かるようになっています。この時間割はご家庭に持ち帰る「学年通信」にも載っています。

（小学部低学年）



（小学部高学年）（中学部）

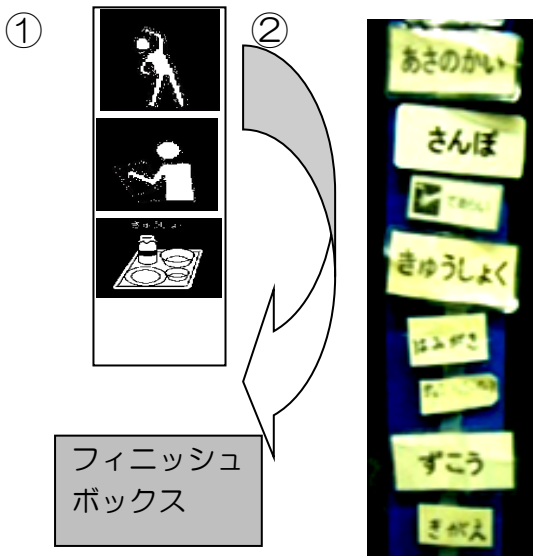




小学部、中学部、高等部と児童生徒の実態に合わせた形式でのスケジュールになっています。

ご家庭でも、「学年通信」の授業名のシンボルマークを指さして、「〇〇が楽しかった？」などと、お子様とコミュニケーションをとっている方もいます。

クラス全体のスケジュールとは別に、個人のスケジュールを使用している児童生徒もいます。カバンの用意や係の仕事、トイレのタイミングなど、より個人の実態に応じた活動内容、視覚な配慮が可能です。



①はシンボルマーク、②はひらがなを中心としたスケジュール表です。この他に、授業名の横に場所の写真を入れた物や一回の情報量を減らすために一日をいくつかに分けた物など、個人の実態に合わせて作成しています。

多くの場合、活動が終わると該当のカードをはがし、セットになった受け皿へ入れるようにしています。そうすることで次に行うことが一番上になるようになり、次に何をしたらよいのかがとてもわかりやすくなります。

✿その他にも次のようなコミュニケーションの道具を使って、自分の意思を相手に伝える学習をしています

カード

写真やイラスト、文字のカードを相手に渡すことで気持ちを伝えられるように練習しています。



＝『中庭に行きたいです。』

スイッチ（トーキングブリックス）

録音・再生ができる機器です。「終わりました」と録音しておき、活動が終わったら押すなどの使い方があります。



ドロップトーク

タブレットなどに向けたアプリケーションです。イラストが搭載されており、撮影した写真の追加も可能です。イラストを選択して文章を構成し、相手に気持ちを伝えることができます。



【支援グッズの紹介】

イヤーマフ

イヤーマフや耳栓には遮音効果があります。人の話し声や物音が気になって集中できない時にイヤーマフを使うことで、騒音と感じる音をシャットアウトしてくれます。遮音率も製品によって幅広く、

厚さや重さも色々です。音の聴こえ方や、耳への締め付け具合、重さ等も試しながら自分に合った物を見つけられるといいですね。



バランスクッション

クッションとして椅子に置いて座ると、体幹トレーニングだけではなく適度な揺れが身体を刺激してくれます。本校では、席に座るのが苦手な子どもたちに使ってもらったところ、学習課題等に集中しやすく、落ち着いて授業に参加できるようになりました。

ポイントとしては、あまりクッションの空気が入れすぎない方が、座りやすいことが多いようです。

